

特別な教育的支援を
必要としている子どもたち

高機能自閉症 (アスペルガー症候群)

— 理解・啓発ガイドブック —



平成16年 3 月

奈良県立教育研究所

はじめに

国においては、小・中学校におけるLD（学習障害）やADHD（注意欠陥／多動性障害）、高機能自閉症の児童生徒について、ここ数年大きく取り上げられるようになって参りました。

特に、21世紀の幕開けである平成13年1月には「21世紀の特殊教育の在り方について」の最終報告をとりまとめ、相談体制や就学基準、特別な教育的支援を必要とする児童生徒への対応など、我が国の特別支援教育の方向性を示しました。これを受けて、平成15年3月には「今後の特別支援教育の在り方について」の最終報告が出され、『特別支援教育は従来の障害児教育の対象だけでなく、LD、ADHD、高機能自閉症を含めて必要な支援を行う』という方向性が示されました。

一方、閣議決定された障害者基本計画を受けて、平成16年1月には「小・中学校におけるLD（学習障害）、ADHD（注意欠陥／多動性障害）、高機能自閉症の児童生徒への教育支援体制の整備のためのガイドライン（試案）」が出されました。

教育研究所では、このような国の急激な教育改革の動きに合わせてLD・ADHD・高機能自閉症について、県民対象の開放講座を開催したり、教育相談を実施したり、先生方を対象にした研修会を実施し理解・啓発に努めて参りました。また、並行して、LD・ADHDについて、大学の先生や現場の小・中学校の先生、教育委員会の指導主事の協力を得て、プロジェクトチームを立ちあげ、教育セミナーでの発表や理解・啓発ガイドブックの発行に努めて参りました。

今回のガイドブックは、社会性・コミュニケーション・こだわりといった面で特徴がある高機能自閉症（アスペルガー症候群）について取り上げました。診断というより理解と指導に重点をおき、できるだけ分かりやすく、読みやすいレイアウトを心がけました。後半では、開放講座において大変好評をいただいた県立医科大学の飯田順三先生のご講演をもとに再構成いたしました。

最後になりましたが、本研究を進めるに当たりご協力いただいた先生方並びに、ご指導、ご助言いただきました皆様に心からお礼申し上げます。

平成16年3月

奈良県立教育研究所

所長事務取扱 矢和多 忠一


〈気づきと理解のために〉

第1部をご覧くださいから、第2部をじっくりお読みになると理解が深まります。


第1部 ビジュアル版 (P 1～P11)


第2部 講演記録 (P 12～P26)

第1部

-  **早わかり**
- P 1～P 6 **理解のページ**
「こんな場面ありませんか」
- P 7～P 9 **対応のページ**
「あなたならどうする」
- P 10～P 11 **まとめのページ**
「かかわり方の基本姿勢」
「みんなで支えるために」

第2部

- P 12～P 26 「高機能広汎性発達障害の理解と対応」
-  **じっくり**
- I はじめに
- II 3つ組の障害
- III 随伴症状
- IV 心の理論
- V 診断
- VI 治療と対応
- VII 今日を楽しく生きる

-  **拾い読み**
- コラム P 14 もともと脳は女性なんです
椅子の話
- P 18 タイムスリップ現象
- P 19 指示は一つずつ
- P 20 増えている？自閉性障害
- P 21 アイデンティティの獲得
- P 22 診断基準
- P 23 表情を読み取る練習
脳波で分かる？
- P 25 言葉がけのコツ
- P 26 アスペルガー症候群の歴史
大きくなると…

第 1 部

こんな場面
ありませんか①

相手の気持ちを傷つけることが分からない



髪の毛の少ない校長先生を見たとき、
「はげてる」と平気で言ってしまいます。

目上の人という意識をせずに、
見たとおり言います。

「〇〇さん、太っているね」と
言うてしまうのです。

悪気はないのですが…



社会性に問題がでてきます

対応は…

- ・ その場で起こったことをすぐに振り返らせましょう
- ・ ソーシャルスキルを高めましょう



図 1 ソーシャルスキルトレーニングカード

ことばと発達の学習室M「ソーシャルスキルトレーニング絵カード5」より

解 説



自分が言われたときの気持ちや相手の気持ちを想像できず、思ったことをそのまま言ってしまいます。

このようなことは、小さいときには許されても、年齢が上がるにつれ、度重なると問題になります。かなり大きくなっても（例えば成人しても）場の雰囲気を読めずに、言わなくていいことまで言ってしまうと、対人関係がうまくいかなくなり、暮らしにくくなります。

対応は…

一つ一つの場面ごとに具体的に教えることが必要です。

時間が経てば分からなくなるので、その都度、自分の行動や言った言葉、言われた相手の気持ちを考えさせます。

「今日のできごと」として日記などで振り返ることも一つの方法です。

この他に、社会性の問題として、マイペースでかかわりが一方的、友達関係を作ることに興味を示さない、暗黙の了解が分からないことなどがあげられます。

そのために孤立したり、トラブルになったりすることがありますが、このような特徴があることを理解して、ソーシャルスキルトレーニング、場面に応じたロールプレイ、相手の表情を読み取る練習などを行いましょう。

その際、微妙な気持ちの変化を言葉で表すより、視覚的に表現する方が理解しやすい場合があるので、前ページの絵カード(図1)やシンボルマーク(図2)を使う方法もあります。



図2 表情を示したシンボルマーク
トニー・アトウッド『ガイドブック・アスペルガー症候群』より

また、クラスでの取組として、「よいところさがし」というようなテーマを設定し、お互いのよさを認め合ったり、自分の気持ちの表し方を学んだりする機会を設けるとよいでしょう。



頭ごなしに 叱らない

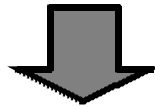
関連ページ
P15~17

こんな場面
ありませんか②

字義どおりの解釈をする



曲がらないと家に帰れないのに？



コミュニケーションに問題がでています

対応は…



まっすぐという意味を具体的に説明する

「今日は〇〇があるから、学校が終わったら
どこにも寄らずに帰ってくるのよ。」

解 説



複数の意味をもつ言葉や慣用表現を理解しにくいので、前後の文脈に関係なくその言葉の代表的な意味どおりに解釈して、誤解が生じます。「まっすぐ」は主に「直線的」という意味で使われますが、「まっすぐ帰る」という場合は「寄り道をしないで」という意味になります。「(家に)まっすぐに帰ってきなさい」と言われても、「いっぱい道を曲がらないと家に帰れないよ」と思ってしまうのです。

このようなことが頻繁に起こると、会話などの人とのやり取りで、行き違いが生じやすくなります。

対応は…



左ページ下の
のような、具体的で分かりやすい表現を心がけてください。

また、一方で、日常よく使う慣用表現（例えば「三日坊主」や「猫の手も借りたい」）や、複数の意味がある言葉などは、説明を加えながら意図的に教えるとよいでしょう。

この他にも、コミュニケーションの問題として、多弁なわりに助詞や受動文の理解と使用に誤りがあったり、妙に大人びた口調や堅苦しい言い回しをしたり、独り言が多かったりすることなどがあげられます。

このようなことがあると、人をからかっていると思解されたり、逆にからかわれたりするので、「会話の技術」を教えることが必要です。

その際、やり取りの様子やそのときの気持ちが見て分かりやすいように、コミック会話(図3)や吹き出しのある漫画などを使う方法もあります。

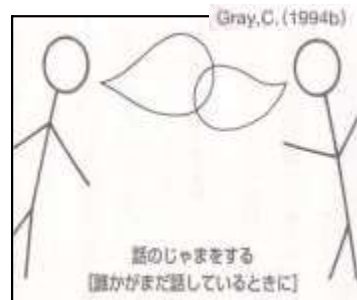


図3 コミック会話の例

クラスでの取組として、会話文の多い文章の音読や、表紙絵のようなペーパサートなどを使って、やり取りをする機会を設けるとよいでしょう。



ひとつずつ ていねいに

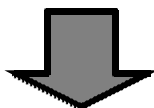
関連ページ
P17~18

こんな場面
ありませんか③

固定化された習慣



細かいことにこだわってしまう
いったん決めたことは必ず守ろうとする



著しく偏ったこだわりになります

対応は…



- ☆ 見通しをもたせる
- ☆ 予告をする

解 説



このケースの子どもは、いつも 11 時に寝ることを習慣にしていたのですが、その時刻になっても宿題が終わらなかったために、一種のパニック状態になってしまいました。こうなると、せっかくのよい生活習慣も融通の利かない固定化された習慣、つまり「こだわり」になるのです。

対応は…

始めと終わりの時刻や活動内容と場所を明確にして見通しをもたせることが大切です(これを**構造化※**と言います)。
事前に「予定の変更があるかもしれない」ということも予告しておいて、受け入れやすいものにします。そして、変更を受け入れられたときは、ほめましょう。

この他にも、強迫的思考や極端なコレクションをするというような様子が見られます。

次の行動に移ることができないほどこだわってしまうときには、折り合いをつけることが大切です。その際、スケジュールをきちんと示し、本人が納得して終了できるように配慮しましょう。

また、細かなところにこだわるがあっても、それをやめさせようとするのではなく、長所となるように支援する姿勢が大切です。例えば、機械的な記憶が得意で反復を好むので、コンピューターには優れた能力を発揮することがあるのです。

※**構造化**とは「いつ」「どこで」「何を」するのかを 分かりやすく伝える一つの方法。
場所と活動が 1 対 1 の対応をするように、一つの場所を多目的に用いないようにしたり、スケジュールを視覚的に分かりやすくすることなどがあります。



こだわりに こだわらない

関連ページ
P 18

あなたならどうする 1

一方的な話でケンカに…

① ○○さんと□□さんがケンカをしています。



○○さん □□さん

② 先生がかけてつきます。



③ 場所を変えて
(タイムアウト)
落ち着いてから
(クールダウン)
理由を聞くと…



○○さん □□さん

○○さんたら
自分のことばかり
言うんだもん
つまんない

原因は… (ケンカの前にはこんなことが)



○○さん □□さん

L.ロン ハバード『学び方がわかる本』より改変

社会性のつまずき

- ・ 場の雰囲気が読めない
- ・ 質問攻めにする
- ・ 相手の迷惑が分からない

コミュニケーションのつまずき

- ・ 一方的に話してしまう
- ・ 独特な話し方
- ・ しゃべりすぎる
- ・ 儀式張った堅苦しい言い方

こだわり

- ・ 細かいところにこだわる
- ・ 特別な興味

対応は…

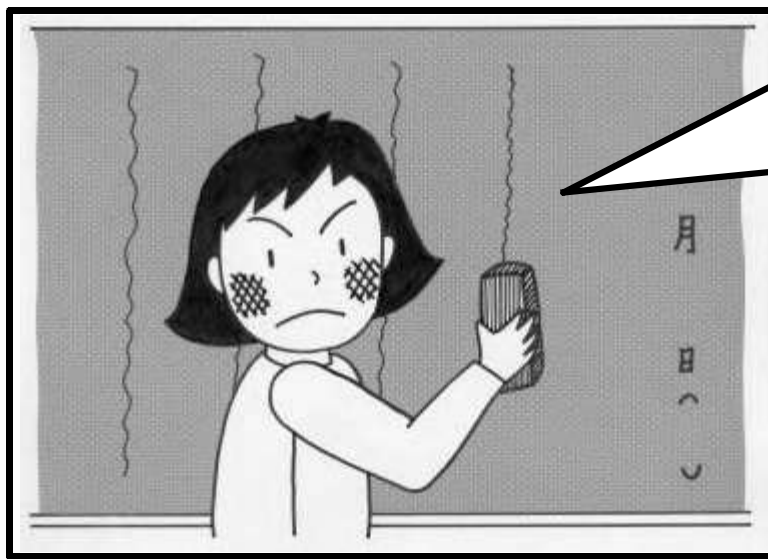
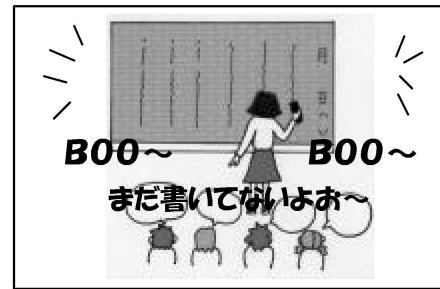


あなたの対応を考えてみましょう

- ① 本人へのアプローチ
- ② 周囲の子どもたちへの配慮

あなたならどうする 2

黒板消しがトラブルに…



消しといてって
頼まれたんだからね!

あなたが
遅いんですよ!

待てるわけ
ありません

原因は…

相手の気持ちが分からない
真面目すぎて融通が利かない
プライドが高い

対応は…

具体的に説明する



- みんなが怒った理由を考えさせる
- 「書けていない人がいても、怒らないで待つことは大切です。」と教える
- 「先生も、『みんなが書き終わってから、消しましょう。』と、ていねいに言えばよかったね。」と伝える

あなたならどうする 3

被害にあいやすい…



幼児期

- ・視線が合いにくい
- ・他の子と遊ばない



学童期

- ・いじめられやすい
- ・LDを合併していることもある

青年期になると…

他にこんな様子も…

- ・行動をいちいち確認する
- ・指示された通りに行動する



原因は…

字義どおりの解釈をしてしまう
「疑うこと」を知らない
次の場面が予測できない

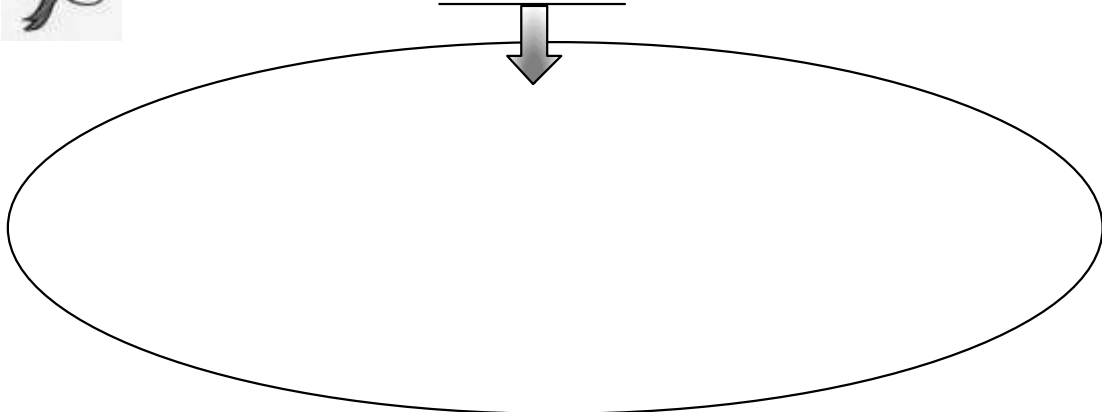
「こんなことぐらい
分かるでしょう」と
見過ごしてきた



対応は…

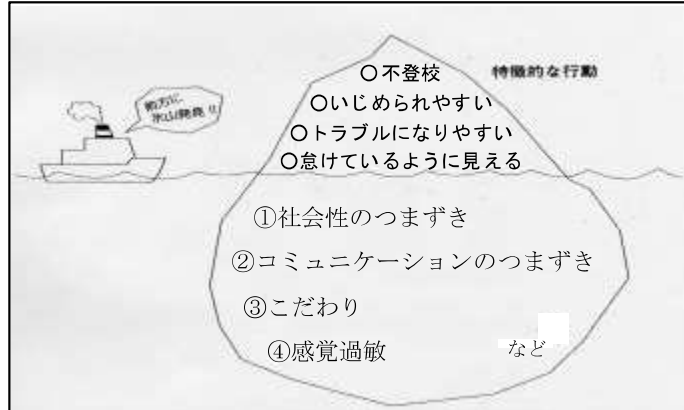


あなたの 気づき から始まります!



かかわり方の基本姿勢 ～すべての子どもにあてはまります～

◎ 特徴的な行動には、必ず原因（理由）があります。



氷山モデルのデザイン
佐々木正美 監修
「自閉症の人たちを支援
するということ」より改変

◎ 支援のポイント

○ 頭ごなしに 叱らない

- ・ 場所を変え、落ち着いてから、すぐに振り返らせる。
- ・ 「怒られた」という気持ちだけが残らないようにする。

○ ひとつずつ ていねいに

- ・ 一を聞いて十を知ることは難しいが、十 言えば、十 わかる。
- ・ 穏やかに論理的に伝える。

○ こだわりに こだわらない

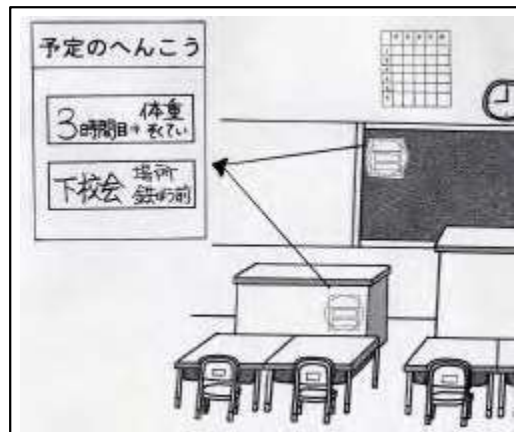
- ・ 折り合いをつける。
- ・ 特性として伸ばす。

◇ ソーシャルスキルを高める例

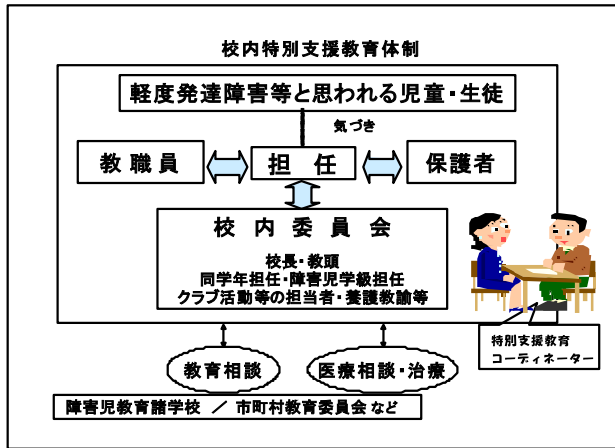


國分康孝監修 『ソーシャルスキル教育で子どもが変わる』より

◇ 構造化（変更を予告する）例



◎ 連携が大切です！



今まで紹介したような傾向は、誰にでもあります。

ただ、高機能自閉症・アスペルガー症候群の場合は、その程度が著しいと言えます。

しかし、それは医師の診断によるものです。勝手に決めつけたりできるものではありません。

◎ 二次障害を防ぐのは大人の役目です！

子どもが困っていることに気づかず、特性に応じた適切な支援をしなければ、いじめを受けたり、失敗経験を重ねたりして、自信をなくし、不登校になるなど二次障害を引き起こします。

◎ 「子ども理解」が基本です！

